

HOPES

ホープス セカンド

2nd

「我が家の住み心地は、やっぱりいいですよ」と笑う石井さん夫婦。今年の春、新市さんの両親と共に、4人で自宅に戻ってきました。すでに独立した子ども達の部屋を使って、「カイロプラクティック」の施術を行っています(要予約 ☎080・6003・4063)。自宅以外でも、出張して施術を行う他、毎週月曜日は、宿泊体験館「きこり」で、お試しの施

挑戦の続きをふるさとで

石井 新市 さん
美智子 さん (白石)



避難する中でカイロプラクティック(アメリカ発祥の手技療法。日本では民間資格)を学び開業。今年4月に帰村し、現在は自宅や宿泊体験館「きこり」で施術を行っています。



6月には、いたて活性化センター「いちばん館」で「健康いちばん!の集い」(P18参照)に参加。石井さん夫婦の「いたてカイロ」コーナーには、関心を寄せる人の列ができました。

術(500円)も行っています。福島市飯坂町に避難していた中で、この技術を学び始めた新市さん。その転身に戸惑い初めは思い留まらせようとした美智子さんでしたが、実際に施術を受け、過去の手術の後遺症が楽になったことから、自分も一緒に学び始めることになったそうです。

「主人も子どもの時に大病をしていて、つらい人を助けられたらという思いがあります」と美智子さん。開業当初は、旧「いやしの宿いたて」でのボランティアからスタートしました。新市さんは、「夫婦2人、こうして生きている。仕事として成功してもしなくても、ともかく挑戦してみようという気持ち」と、昨年はアメリカのカイロプラクティック大学へ短期留学するなど、技術の向上に取り組んでいます。

「健康は一つの社会貢献。誰もが健康でいたいですよね」「感謝されると励みになります」。二人三脚の挑戦は、続きます。

〈編集後記〉

●「暑いけど、がんばってね!」「応援してるよ!」役場に毎日届く暑中見舞いのハガキ。もちろん私宛で。ではなく、8月に1歳になるイイタネちゃんに寄せられているものです。昨年の道の駅オーブンと一緒に誕生してから、イベント等に参加して、たくさんの人と楽しい時間を過ごしてきたイイタネちゃん。これからも、笑顔のタネを蒔いていって欲しいタネ!(木幡)

●村役場の窓口のカウンターに、イイタネちゃんの人形が座っています。1か月ほど前には、七夕の笹飾りを持っていて、短冊には「リア充」と書いてありました。今は、水泳のゴーグルをかけて、イイタネと名前を書いたプールカードを持っています。次はどんなコスプレ(?)を見せてくれるかな。役場に来た際には、ぜひチェックしてみてください。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。